

報告  
REPORT

## コアジサシの 保護柵設置

昨年度の議会質問で、絶滅危惧種コアジサシの貴重な繁殖地保護を問いかけ、保護区の設定を要望しました。その結果、本市と静岡県は繁殖地をクイとロープで囲い、保護エリアが設定されました。

コアジサシは、国際的に保護が求められている希少な海鳥です。舞阪海岸は、水没の被害がない貴重なコロニー(集団繁殖地)ですので、大切に守っていききたいものです。

また、近年、砂浜でビーチマリンスポーツが行われていますが、人が自然環境を利用する時は、そこに生きる動植物の生息場所を失くさないような配慮が必要です。

世界の行動目標であるSDGsの達成や生物多様性の保護を考える時、絶滅が危ぶまれる生物の生息地は恒久的に保護することが大切であると考えます。



遠州灘舞阪海岸に  
設けられた  
コアジサシのコロニー



コロニーに設置された啓発看板

報告  
REPORT

## 新野球場 建設問題について

静岡県が、浜松市西区篠原町で建設を検討している遠州灘海浜公園と県立野球場は、2020年2月に3つのコンセプトに基づく公園の配置計画、規模・構造の異なるタイプの野球場計画の比較検討プランが提示されましたが、その後の新型コロナウイルス感染症の影響もあり、アフターコロナに対応した施設となるように見直しが行われてきたようです。

また、建設予定地は市指定文化財「アカウミガメとその産卵地」に隣接しており、公園の野球場や園内から海岸に漏れ出る光が貴重なアカウミガメの繁殖に大きな影響を及ぼすことが分かっています。そのため、2021年9月に浜松海岸を訪れた静岡県議会議員団、静岡県の公園緑地担当者、自然保護課を案内し、NPO法人のウミガメ保護調査員の協力のもと、人工光が子ガメに与える影響調査に立ち会いました。結果は、浜松市が2018年に行った環境影響調査と同様に人工光に誘引された子ガメは海に入ることが出来ませんでした。



光に誘引される子ガメ

No.9  
2022年

# 市民サポート浜松の 浜松市議会ニュース

浜松市議会のご報告、  
議員活動などをお伝えします。

市民サポート浜松発行 / 〒430-8652 浜松市中区元城町103-2 浜松市役所 7階 TEL.053-457-2491

●発行責任者/馬塚さやか

新型コロナウイルス感染症の発生から2年が経過しました。  
未だに終息の見通しが立ちませんが、引き続き感染拡大を防ぐため、  
マスクの着用、密の回避、手指消毒の徹底、ワクチン接種などのご協力をお願いいたします。  
「市民が安心して住みやすい浜松市であるように」今後も精一杯尽力させていただきます。

報告  
REPORT

## 市民サポート浜松 馬塚さやかの活動報告

本年度、馬塚さやかは、常任委員会は市民文教委員会、特別委員会は地方創生特別委員会に所属しました。

市民文教委員会では、天竜区の水窪中学校と佐久間小学校のICT学習が活用された教育現場、山里いきいき応援隊の地域まちづくり、光明寺古墳などの視察に行きました。

本市の光ファイバ網等未整備地区解消事業により中山間地域のインターネット環境が整備され、小中学校学習者用タブレット型端末等整備事業により児童生徒1人1台の端末が配備、ICT(情報通信技術)環境が整備されました。

水窪中学校では、タブレット型端末を活用した授業を見学しました。また、PTAやコーディネーターのご協力で生徒の各ご家庭のインターネット環境も整い、ICT学習が活用されていることも伺いました。災害や感染症対策でのリモート学習に活用されるなど、地域格差のないICT教育が進められています。

情報化やグローバル化が急激に進む社会の変化に対応していくためには、今後ますますICTを活用した教育が欠かせません。



水窪中学校視察 2021.06.25

## ICT(情報通信技術) 学習ってなに?

もうちょっと  
詳しく

ICT学習とは、パソコンや電子黒板、インターネットなどの情報通信技術を活用してデジタル化された教育のことです。

文部科学省では、2020年からスタートした新学習指導要領で、変化の激しい情報化社会を生き抜くためにICTを道具として情報収集、判断、解決する「情報活用能力」を言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付け、学校教育分野の情報化のため、ICT教育を推進しています。

本市においては、2022年度末までに児童生徒全員に1人1台のタブレットPCを配備し、学校での学習にICTを活用します。



水窪中学校ICT学習の様子

## 市民相談について

〇〇ってどうなってるの?〇〇したいけど、どうしたらいいの?  
疑問、ご相談など、下記までご連絡ください。

馬塚さやかにお声を  
かけてください

皆様の地域のイベントや会合などにお声をかけて下さい。  
馬塚さやかが、市政のご報告やご意見ご要望を伺います。  
一緒に考え、市政に活かしていきましょう。



浜松市議会 市民サポート浜松 053-457-2491

〒430-8652 浜松市中区元城町103-2 浜松市役所7階 FAX 053-457-2490

sayaka.m@hamamatsu-shigikai.jp https://www.sayakamazuka.jp/





# 浜松市議会報告



市議会からの積極的な情報発信で、市民の皆様にも市議会の活動を身近に感じていただけるようにします。

## 報告 行政区再編について

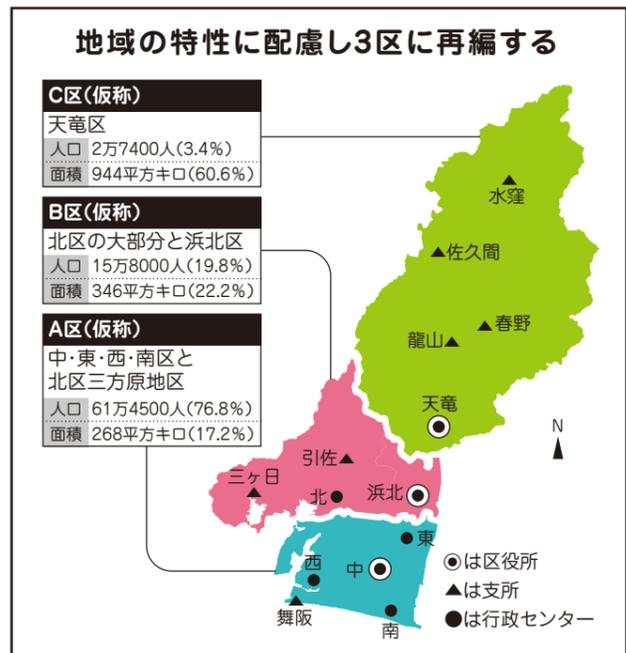
2021年12月に行財政改革・大都市制度調査特別委員会で、行政区再編の区割りが現行の7区から3区に内定しました。

区割りは、浜松駅を核とする都心部が広がる沿岸を含む地域、浜北駅を中心とする副都心を基軸とする産業と自然環境に恵まれた内陸地域、豊かな自然と地域特性を活かし定住できる天竜区とし、それぞれの多様性を生かし、都市の活力や成長を源泉とした都市経営が出来るようになりました。

### 実施スケジュール

2022年5月	区割り案決定
6～10月	審議会へ諮問・答申・区名募集
11～12月	7区協議会へ諮問・答申
2023年2月	区設置等条例議決
2024年	新区へ移行

新3区案で再編された場合、市職員81人減、年間人件費約6億4000万円の削減を見込んでいます。一方、システム改修などで約5億5000万円の経費がかかる見通しです。



## 報告 令和4年度予算案 過去最大6679億円

令和4年度の当初予算案は、一般会計+特別会計+企業会計の合計が6679億円です。一般会計は3640億円で、前年当初比+4%の139億円増え、過去最大の予算額です。

予算案には、デジタル化の推進、産業力の強化、子育て・教育環境の向上、健康寿命の延伸や防災・減災対策、交流人口の増大、公共施設やインフラ施設の維持更新など、行政課題への対応を反映したとしています。

### デジタル・スマートシティ政策の推進

- ・協働センター等公衆無線LAN整備事業 ..... 1億2000万円
- ・行政手続きオンライン化事業 ..... 1300万円

### 産業力の強化

- ・EVシフト対応支援事業 ..... 6400万円

### 子育て・教育環境の向上

- ・子ども医療費助成制度見直し ..... 4700万円
- ・放課後児童会の運営支援事業 ..... 12億8000万円
- ・不登校対策事業 ..... 2億8000万円

### 防災・減災対策

- ・地震対策推進事業 ..... 2億2000万円

### 公共施設等の整備

- ・新清掃工場及び新破碎処理センター整備事業 ..... 73億円

### 新型コロナウイルス感染症対策

- ・ワクチンの追加接種(3回目)及び小児に対する2回接種事業 ..... 25億円
- ・電子決済サービス等を活用したポイント還元事業 ..... 8億4000万円

### 地域経済の活性化

- ・大河ドラマ「どうする家康」による地域経済の活性化事業 ..... 8億5000万円

上記を含むこの予算案は、2月28日の本会議に提出され、委員会審査を経て3月24日の本会議において採決をします。

## 報告 放課後児童会 運営委託化について

「放課後児童会育成会」への負担金方式で運営されている放課後児童会について、運営責任の明確化や支援員等の待遇改善、待機児童の解消など諸課題を解決するため、2019年度から放課後児童会運営委託化モデル事業を実施しています。

2022年度からは、委託化を本格実施へと移行し、2024度の全市委託化に向けて段階的に委託化の対象放課後児童会を増やします。

また、対象放課後児童会の年間の開設日数、開設時間などの運営内容や保護者負担金の金額を見直し、統一を図ります。

### 【委託化実施か所】

2022～2023年度の委託化対象放課後児童会153か所のうち61か所と新規開設6か所の計67か所で実施します。南区では、白脇小学校、飯田小学校が対象です。

### 【運営主体の変更】

「放課後児童会育成会」から、シダックス大新東ヒューマンサービス(株)中部第二支店に変更

### 【運営内容】

開設日:月曜日～土曜日※土曜日は合同開設  
 祝日・盆休み・年末年始は休み  
 開設時間:学校開校日 13時～18時30分  
 土曜日・長期休業日 08時～18時30分

### 【保護者負担金】

2022年度 会費:月額5,000円  
 おやつ代:月額1,000円  
 保険料:年額1,000円

2023年度 会費:月額7,000円  
 おやつ代:月額1,000円  
 保険料:年額1,000円



## 課題 家庭ごみの有料化について

家庭ごみ排出量の高止まりが続き処理費が年61億円に及ぶことから、2020年7月に浜松市環境審議会に諮問された「家庭ごみ有料化に関すること」が1年に及び審議され、2021年10月に「家庭ごみ有料化は有効な施策の一つである」とするとともに「家庭ごみ有料化は市民の日常生活に大きな影響を与える施策であるため、実施する場合に十分に配慮すべき」事項についても答申されました。すでに実施している政令指定都市では、ごみの減量効果があったそうです。そこで、本市は、排出量に応じた処理費用の一部を市民が負担する家庭ごみの有料化の方針を打ち出しました。

家庭ごみの有料化は、ごみの排出量を抑えることと排出量に応じた負担の公平性が目的です。しかし、街路樹の枯れ葉やポイ捨てごみと家庭ごみをどのように区別するかも課題です。さらに、後を絶たない不法投棄やポイ捨てごみが、家庭ごみの有料化でさらに増えることも懸念されます。環境問題を考える時、ごみの減量とともに不法投棄への対策も考える必要があります。

家庭ごみ有料化の実施時期はまだ決定していませんが、本市のごみの現状と家庭ごみ有料化の検討状況についての説明会を2022年2月に8回行い、2022年2月5日から3月4日まで意見を募集しました。

**【浜松市からのお知らせです】**

**ごみの現状と家庭ごみ有料化の検討状況をご説明します!**

市ホームページより説明動画をご覧いただき、ご意見をお寄せください。(2月5日公開予定)

動画の説明内容について、ご意見を募集します。(募集期間:2/5～1/4)

説明動画はこちらのQRコードから視聴してください。

市ホームページから検索

市ホームページから検索

家庭ごみ有料化の検討状況

ホームページの説明以外でも、下記日程で説明会を開催します。

開催日時・会場	ごとの定員
2月5日(土) 10:30～	龍崎文化センター(西区) 定員:900人(先着順)
2月6日(日) 10:30～	新倉山児童館(東区) 定員:170人(先着順)
2月10日(木) 19:30～	クワイア・浜松(中区) 定員:100人(先着順)
2月12日(土) 10:30～	引佐(浜北区) 定員:200人(先着順)
2月13日(日) 14:30～	みきつ文化センター(北区) 定員:240人(先着順)
2月19日(土) 10:30～	龍山森林文化会館(天竜区) 定員:110人(先着順)
2月20日(日) 10:30～	ひがし(豊田会館)(中区) 定員:270人(先着順)
2月22日(日) 10:30～	天竜生体ホール(天竜区) 定員:250人(先着順)

※参加申し込みは不要です。  
 ※参加費はご自身の負担となります。各会場(定員)に達した場合、入場を制限する場合があります。  
 ※また、感染状況によっては、延期・中止とする場合があります。

**【問合せ先】** 浜松市環境部ごみ減量推進課 ☎053-453-0026

※現在は終了しています